

【協議会委員（敬称略・順不同）】

	氏 名	職 名	
1	楠野 宣孝	学校法人樟蔭学園 樟蔭中学校・高等学校 理事・校長	出席
2	小山 健蔵	大阪教育大学 教授（ご欠席）	欠席
3	傳馬 美弘	大阪市立市岡東中学校長	出席
4	加藤 昭弘	大阪市立波除小学校長（ご欠席）	欠席
5	野上 千春	社会福祉法人 波除学園総園長	出席
6	塚目 晃広	保護者（PTA 会長）	出席

1. 学校長あいさつ

(ア) 現状報告

① 高校入試について

- ・ 中学 1 年生からの評定を点数化し、入学試験で使用する。
- ・ インフルエンザにより欠試した生徒を対象として、追試験を行う。
- ・ 試験時に Jアラートが発生した場合の対応方法の検討。

② 教えて先輩

- ・ 120 名の卒業生が、生徒の進路に応じて、それぞれの職種ごとに講話を行った。

③ 生徒会活動

- ・ 朝のあいさつ運動を実施。

④ 部活動

- ・ 吹奏楽部がコンクールで受賞。女子バレー部が 2 部で活躍。

⑤ 国際交流

- ・ 樟蔭高校と連携し、台湾留学の案内を出したが、生徒の参加数は 0 件。  
今後も案内を出しながら、生徒の国際交流の機会を増やしていく。

2. 報告

(1) 平成 29 年度学校教育自己診断結果

① 質問《港高校へ行くのが楽しい》

- ◆ 保護者 87%、教職員 89%に対して、生徒 64%と低い。

- 保護者と生徒の会話が少なく、「生徒が学校に通っている＝楽しくやっている」と考えている保護者が肯定的な意見を書いている。
- 生徒自身の気分の浮き沈みが激しいため、楽しいときが持続しない。結果として否定的な意見を記入したのではないか。

② 質問《港高校の生徒であることに誇りを持っているか。》

◆ 昨年度同様、肯定的な意見は 38%と低いまま。

- 生徒の自己肯定感、所属感が低いことが要因
  - ✓ プライドカードを作成し、生徒を褒めることによって自己肯定感の向上を促す。
  - ✓ 壁新聞を作成、全クラスに配布し、部活の活躍などを学校全体で共有する。
  - ✓ 生徒会新聞、学級通信を配布する。
  - ✓ 写真を掲示板に貼り、努力している姿を見ることにより、自己肯定感を得られる。
  - ✓ 基金を使って、港グッズを作り、努力した生徒に配布する。
  - ✓ 学校活性化委員会の発足

③ 質問《港高校の生徒は学校の規則やルールを守っている。》

◆ 41%の生徒が肯定的な意見であり、否定的な意見の方が多い。

- 真面目な生徒と不真面目な生徒が二極化しているため。
  - ✓ 携帯電話の使用について、校内持ち込み禁止だが、ほとんどの生徒が持ち込んでいる。そのため、校内で使用していた場合、預かり指導という形になっている。
  - ✓ 多くの学校で同じような結果が見られるため、重く受け止めすぎない。
  - ✓ 規則を守っていない生徒が一人でもいると、それを見た生徒は規則が守られていないと感じる。どのぐらいの生徒が規則を守っていないかを明確にするためには「あなたは規則を守っていますか」という質問形式のほうがよいのではないか。

④ 教職員アンケート。

◆ 教員同士の連携が弱い。

- 分掌や学年での交流の機会を増やす。
- 教員の連携について、経営計画にも盛り込む。

⑤ 今後の課題

- ◆ 保護者アンケートの回収率が 60.6%であるため、10%増加を目標とする。
- ◆ 授業の工夫に関する肯定的な意見が 69%に対して、授業のわかりやすさに関する肯定的な意見が 50%であるため、授業の工夫をわかりやすさにつなげていく必要がある。

## (2) 校則の点検・見直し

- ◆ 生活指導基準の文言に関して、数箇所訂正を確認。

## (3) 平成 29 年度及び平成 30 年度学校経営計画及び学校評価(案)

### ① 29 年度と 30 年度学校経営計画及び学校評価の比較

- ◆ 取り組みないようについて具体的に記入。

### ② 31 年度からの 50 分×6 限授業について

- ◆ 50 分授業から 45 分授業に変えたことにより、授業の内容を充実させることができ、ICT の活用人数の増加にもつながった。
  - 45 分では生徒が活動する授業などでは時間的に厳しくなってきた。
    - ✓ 50 分授業で内容・活動ともに充実した授業を行うことが可能
    - ✓ 50 分授業を実施するとともに、放課後講習、朝学を導入する。

## (4) 分掌・学年

### ● 学年

- ・ 1 年生ではリーダーになれる生徒が出てきている。
- ・ 生徒指導の面だけでなく、学習面でも、数値的な目標が必要。
- ・ 進路について、来年度の高校 1 年生は総合的な学習を利用して、ポートフォリオを作成したらいいのではないか。

### ● 教務部

- ・ 観点別評価の導入は依然として進んでいない。
- ・ 来年度から GTEC の全員受験。
- ・ 暴風警報が出た際の規定の見直し。
- ・ 教務業務の引継ぎ。
- ・ 研修のフィードバックの徹底。

### ● 生徒部（生徒指導）

- ・ 遅刻件数 6174 件。遅刻に対する問題意識は高まっている。
- ・ 授業間遅刻の生徒が減少。
- ・ 盗難が多く、今年度 10~15 件発生。貴重品の管理意識を高め、教員同士も組織的に対応。これ以上被害が広がるようであれば、防犯カメラを設置する。

- 生徒部（自治会）
  - ・生徒達だけで動けない。また、リーダーになろうとする生徒がいない。
  - ・教員側も生徒への指導の仕方がわからない。
  - ・行事でリーダーをやることで、損をした生徒が出てきている。
  - 部活動への加入率が低いため、組織的に動くことができない。
  
- 進路指導部
  - ・各学年で行ってきた指導を、学年を通しての指導へ変えていく。
  - ・進路が就職の生徒に対しては、就職担当の教員がつくようになる。
  - ・奨学金の種類も多くなったため、来年からは4人増員する。
  
- 保健部
  - ・研修等のフィードバックを徹底している。
  - ・清掃の充実が課題。
  
- 総務部
  - ・市の奨学金の扱い、及び、PTA 行事の運営。

(5) 来年度に向けての提言

学校協議会から学校**運営**協議会に名称が変更。

(6) その他

- 来年の日程

平成 30 年 5 月 26 日（土）第一回

平成 30 年 10 月 27 日（土）第二回

平成 30 年 2 月 16 日（土）第三回